

## (臨床研究に関するお知らせ)

社会医療法人愛仁会高槻病院整形外科に、特発性大腿骨内顆骨壊死で通院歴のある患者さんへ

社会医療法人愛仁会高槻病院整形外科では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご案内するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、当院倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

### 1. 研究課題名

特発性大腿骨内顆骨壊死と半月板損傷の関連に関する後ろ向き観察研究

### 2. 研究責任者

社会医療法人愛仁会高槻病院整形外科・関節センター 医員 田中聡一

### 3. 研究の目的

特発性大腿骨内顆骨壊死 (SONK) は、まだ原因や病態が解明されていない疾患です。近年、SONK は半月板の損傷に伴う急な関節接触圧の上昇が原因の一つであるとの報告が散見されます。しかし、SONK 発症と半月板損傷の形態や部位との関係性についてはいまだコンセンサスが得られていません。それらの関係性を検討したいと考えます。

### 4. 研究の概要

#### (1) 対象となる患者さん

特発性大腿骨内顆骨壊死の患者さんで、平成 22 年 1 月 1 日以降に、人工膝関節置換術の治療を受けた方

#### (2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、年齢、性別、身長、体重、膝関節可動域、術前下肢 X 線写真 (SONK の進行度、大腿骨・脛骨・膝蓋骨のアライメントや長さなどの各種計測)、MRI 写真 (半月板損傷形態、部位の評価)、その他電子カルテ内にある必要な項目です。

#### (3) 方法

電子カルテや X 線写真、MRI 写真をなどからデータを抽出して統計処理をかけます。

### 5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

### 6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させて頂きます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

### 7. 問い合わせ先

〒569-1192 大阪府高槻市古曾部町 1-3-13

社会医療法人愛仁会高槻病院整形外科 担当医師 田中聡一

TEL : 072-681-3801 FAX : 072-682-3834

E-mail : [tnktshkz@gmail.com](mailto:tnktshkz@gmail.com)